

带状疱疹の

予防接種を受けませんか？

50歳を過ぎたら

市立大津市民病院 健診センターでは、
50歳以上の方を対象とした带状疱疹
予防ワクチン(シングリックス)の接種
予約受付を**2021年7月**より開始します。



带状疱疹とは

過去に水疱瘡(みずぼうそう)にかかったことがある、ほとんどの方の体の中には、水疱瘡のウイルスが残っています。

普段は何も悪さをしないのですが、加齢などによる免疫力の低下や、疲労、ストレスなどをきっかけにウイルスが活動を始め、体の片側の一部にチクチク、ピリピリした痛みが発生し、その部分に赤い発疹や水ぶくれがあらわれます。それが带状疱疹です。その後痛みが増していき、眠ることができないほど激しい痛みを感じる方もおられます。

治った後にも続くいやな痛み

带状疱疹にかかると、神経に炎症が起こります。炎症による神経の損傷が重い場合、発疹などの皮膚症状が治った後も、いやな痛みが長期間にわたって持続することがあります。痛みが3ヶ月以上続くものを、带状疱疹後神経痛(PHN)といい、特に高齢者の方はリスクが高いといわれています。

「シングリックス」について

「シングリックス」は、**2回の接種**で带状疱疹に対する予防効果が得られます。1回目の接種から、2ヶ月あけて2回目の接種を行います(1回目の接種から6ヶ月以内に2回目の接種をする必要があります)。

以前に带状疱疹にかかったことがある方も、接種が可能です。

ご予約について

- ◆ご予約の際は、1回目と2回目の接種日の予約をおとりください。
- ◆ワクチンは取り寄せのため、キャンセルはできません。

- 予防接種は带状疱疹を完全に予防できるものではありません。
- 体調やアレルギーの既往などから、医師が接種に適さないと判断した場合は、予防接種を受けていただけません。